

平成25年度「目標チャレンジ」表彰課所

■選定・評価の考え方

- ・目標チャレンジに積極的に取り組み、顕著な成果を収めた課所を知事表彰
- ・評価の視点：①目標設定の適切性、②目標達成に向けた組織(職員)の努力、③目標達成度(成果)

■選定の流れ

- ・各部局から、「施策推進の部」「県民サービス・事務改善の部」ごとに、1～4課所を順位を付して推薦
- ・推薦課所の中から、審査委員会（総務部次長兼行革・分権室長，企画部次長，政策監等で構成）の審査により表彰候補を選定

■表彰件数

部 門	賞	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度
施策推進の部	優 秀	3	3	1	2
	努 力	5	4	5	6
県民サービス・事務改善の部	優 秀	1	0	1	1
	努 力	1	2	2	2
計		10	9	9	11

《施策推進の部》

【優秀賞】 科学技術振興課 『総合特区新規プロジェクトの創出』

目標数値等	実績見込み
①新規プロジェクト認定数： <u>2件以上</u> ②次期プロジェクト掘り起こし数： <u>2件以上</u>	① <u>3件</u> ② <u>2件</u>
(表彰理由) ○ つくば国際戦略総合特区において、コーディネータ役として中心となり、研究機関、企業、大学等多くの関係者が参加する新規プロジェクト3件を取りまとめ、関係省庁と協議して総合特区計画への追加認定を全国で初めて実現するとともに、次期プロジェクト2件の掘り起こしにより、5件以上の新規プロジェクト創出という総合特区計画に目処を付けた努力を高く評価。 ○ 総合特区指定申請時における1年間あたりの新規プロジェクト認定数の2倍以上を目指す意欲的な目標であったが、これを達成したことを高く評価。	

【優秀賞】 廃棄物対策課 『自動車リサイクル法に係る無許可解体及び不正輸出への対応制度導入』

目標数値等	実績見込み
平成26年度から制度導入	平成26年2月1日から制度導入
(表彰理由) ○ 本県における自動車の盗難や無許可解体、不適正輸出等への対応が急務である中、地方独自の取組としてその撲滅を目指す制度の趣旨や関係機関の役割分担について、関係省庁、税関、輸出業者、解体事業者などと丁寧に協議を重ねて理解を得て、目標よりも2ヶ月前倒しで導入したものであり、努力を高く評価。 ○ 全国で3番目と導入例が少なく、かつ、法的拘束力がない制度の導入であるため、関係者の十分な理解と協力が必要となる困難な目標を達成したことを高く評価。	

【優秀賞】 竜ヶ崎工事事務所 『県道美浦栄線における残件3筆の取得』

目標数値等	実績見込み
残件3筆の権利取得	残件3筆の権利取得完了
<p>(表彰理由)</p> <p>○ 際限なく任意交渉するのではなく、土地収用手続きへの移行も念頭に置いたスケジュールを定め、他課とも連携して体制を整備のうえ、多くの権利者に対し粘り強く交渉するとともに、不在者財産管理人制度や土地収用法による権利取得など複雑な手続きが必要な手法も積極的に活用しており、努力を高く評価。用地取得を行う他課所のモデルとなる取組。</p> <p>○ 長年懸案とされていた案件であり、50名の共有地など遠方を含めた多くの権利者が絡む複雑な課題を含む用地の取得を目指す困難な目標を達成したことを高く評価。</p>	

【努力賞】 立地推進室、産業立地推進東京本部 『企業誘致日本一の実現』

目標数値等	実績見込み
<p>①立地面積：120ha</p> <p>②立地件数：60件 (太陽光発電業を除く)</p>	<p>①117ha (全国第1位)</p> <p>②55件 (全国第1位)</p>
<p>(表彰理由)</p> <p>○ 東日本大震災や福島第一原発事故の影響が残る厳しい状況の中、数多くの企業への戸別訪問、セミナーの開催、企業立地に関する補助制度の活用等により、立地面積全国第1位を獲得した平成22年度を含む過去10年間の平均値と同程度を目指す非常に困難な目標を概ね達成し、立地面積・件数とも全国第1位となった努力を評価。</p>	

【努力賞】 行方県税事務所 『徴税改革（県税収入未済額の縮減）』

目標数値等	実績見込み
自動車税収入未済額： 前年度比19.4% (50百万円) 縮減	前年度比25.4% (65百万円) 縮減
<p>(表彰理由)</p> <p>○ 独自の取組として地元FMラジオや広報車を活用した納期内納付の取組を行うとともに、納付効果の高い給与照会・給与差押えを前年度の2倍超の件数行うなどの取組により、5県税事務所の中で次点(常陸太田15.8%)を大きく引き離す最も高い目標を設定し、これを大きく上回る実績を残した努力・工夫を評価。</p>	

【努力賞】 動物指導センター 『犬の殺処分頭数の削減』

目標数値等	実績見込み
犬の殺処分頭数： <u>3,000頭以下</u>	<u>2,159頭</u>
<p>(表彰理由)</p> <p>○ 飼い主からの引取相談時における継続飼養や新たな飼い主への譲渡の勧奨、再発防止の誓約書の徴収などを行うとともに、県内21箇所での街頭キャンペーン等により、県民の意識を変えるべく、職員が一丸となった粘り強い啓発活動を実施した努力を評価。</p>	

【努力賞】 産地振興課 『茨城県フラワーパーク来園者数の回復』

目標数値等	実績見込み
①来園者数（無料入園含）： <u>160,000人</u> ② "（有料入園）： <u>130,000人</u>	① <u>174,950人</u> （H26. 3. 25実績） ② <u>141,126人</u> （ " ）
（表彰理由） ○ 施設の指定管理者等に対して積極的に提案・働きかけを行い、バラまつり期間中の園内での結婚式など、話題性を持ちメディアに取り上げられつつ一過性に止まらない効果的なイベントを次々と企画したり、担当者会議の定期開催等により関係機関間の連携強化・意識改革を図るなどした努力を評価。	

【努力賞】 県北農林事務所常陸大宮地域農業改良普及センター 『枝物産地での県北地域の振興』

目標数値等	実績見込み
①栽培面積： <u>20ha</u> ②生産者数： <u>60名</u> ③販売金額： <u>2,800万円</u>	① <u>26.6ha</u> ② <u>60名</u> ③ <u>3,348万円</u>
（表彰理由） ○ 県北地域の耕作放棄地や遊休農地の解消を図る取組の1つとして、きめ細かな入門講座や栽培指導等により新たな担い手の育成や品質・収量の向上に取り組むとともに、商品価値を高める加工技術を確立させ、販売単価の向上を実現するなどした工夫・努力を評価。	

《県民サービス・事務改善の部》

【優秀賞】 県南県民センター 『県民サービスの向上』

目標数値等	実績見込み
①直接的サービス ・来庁者照会件数： <u>27人/日</u> 以下（2割減） ・来庁者アンケート満足度： <u>4</u> （5段階） ②間接的サービス ・公用車年間稼働率： <u>68%</u> （5ポイント増） ・職員アンケート満足度： <u>4</u> （5段階）	①直接的サービス ・ <u>16人/日</u> ・ <u>4.06</u> ②間接的サービス ・ <u>68%超</u> ・ <u>3.85</u>
（表彰理由） ○ 各課室から選出された若手職員で構成するCS向上委員会において、毎月議論・検討を行い、庁内案内表示の改善や職員ハンドブック作成など県民サービス向上に向けた多様な取組を全職員が一丸となって実践するなど、自主的かつ他課所への波及効果もある工夫・努力を高く評価。 ○ 個々の職員の自発的意識とその維持による全体の底上げが不可欠で、根気強く取り組むことが求められる困難な目標をほぼ達成したことを高く評価。	

【努力賞】 常陸大宮土木事務所 『若手技術職員の技術力向上（「設計・監督相談室」の開催）』

目標数値等	実績見込み
①「設計・監督相談室」の開催： <u>50回/年</u> ②監督員（係長以下）の相談件数： <u>70件/年</u> ③工事成績評定平均： <u>77.1超</u>	① <u>63回/年</u> ② <u>122件/年</u> ③ <u>77.8</u>
（表彰理由） ○ 当所独自の取組であり、職員の育成に有効な取組の1つであるOJTの模範として他課所での波及効果も期待されるほか、相談しやすさを追求したことにより、若手技術職員の意識変化や職場内コミュニケーションの向上といった副次的効果も見られるなど、工夫・努力を評価。	